

平成29年度 福井県立金津高等学校 学校評価書

項目 〔校務分掌〕	具体的取組	成果と課題	改善策・向上策
1 学習指導・ 地域連携 (中高一貫 教育) 〔教務部〕	①主体的・協働的な学びを育む授業改善に積極的に努める。	○新しい学力観を見据えた、学びを育む授業改善や工夫に積極的に取り組んでいる。 ○生徒の理解度はすべての学年で昨年度の指数を上回っている。また、学年が進むにつれて、指数が高くなっている。 ○保護者の満足度指数は昨年度を上回っているが、低学年で低く、低学年で家庭学習の充実策を考える必要がある。	◇「主体的・対話的で深い学び」の研究と実践に向けた、より具体的で組織的な取組を行っていく。また生徒の「ある程度理解できている」から「ほぼ理解できている」の割合の増加に向け、他者と協働して学んでいくための指導法の研究を進める。 ◇生徒個々に応じた丁寧な指導をすることで、家庭学習時間の確保と充実を図っていく。
	②地域との連携を密にし、特色ある教育活動をとおして、中高一貫教育の充実・発展に努めるとともに、取組を積極的に広報する。	○中高一貫教育の事業に対する連携生徒、保護者の評価、満足度指数は昨年度同様に高い水準を維持し、良好な結果である。 △今回、連携中学校の教員評価は昨年度を大幅に下回り、目標指数を大幅に下回っている。	◇事業内容を精査するとともに、より地域に密着した活動など充実・発展に努める。 ◇現在の状況を見据え、事業内容について連携中学校との連絡・調整を密に行い、中学から高校への接続について議論を深める。
2 生徒指導 〔生徒指導部〕	①登校指導や頭髪服装指導をとおして、挨拶の励行、時間厳守、身だしなみなどの基本的な生活態度の育成に努める。	○毎朝の登校指導や生徒会の活動などをとおして、挨拶に代表される基本的な生活態度が身につけている生徒の割合は高い。前年度に引き続き、挨拶が十分にできていない生徒も微減しているが一定数見られる。	◇引き続き、全体指導やクラス単位の指導、個人面談など、すべての機会をとおして、挨拶の意味や基本的な生活態度の確立の重要性を啓発する。また、継続して生徒会とも協働し、生徒自身が挨拶の意義を考える機会を増やす。
	②学校行事や部活動に積極的に取り組ませ、生徒の自主的・実践的態度とリーダーの育成に努める。	○多くの生徒が自主的・積極的に諸行事に取り組んでいる。あまり積極的には行っていない生徒の割合は微減している。教職員による生徒個人への支援にさらに取り組む必要がある。	◇生徒が学校行事や特別活動において達成感や充実感を味わえるよう個々の行事等の内容を精査し、参加に積極的でない生徒にも、それぞれに適した参加の場を与えたり参加を支援したりするよう努める。
	③いじめの未然防止、早期発見、早期解決に対する教職員の意識の高揚に努める。	○すべての教職員がいじめ問題に対する認識を持ち取り組んでいるが、さらに積極的に取り組む必要がある。	◇研修や会議等を利用して、いじめ問題に対する正しい理解をさらに推進する。
3 進路指導 〔進路指導部〕	①志望進路実現のために、土曜講座や大学入試対策講座を実施し、基礎力の定着および応用力の養成に努める。	○教職員・保護者は目標指数を大きく上回ったが、生徒は各学年で昨年度を下回り、全体としては目標指数を僅かに上回るにとどまった。特に、2年生は目標指数を下回っている。	◇生徒の実情に応じた土曜講座や夏期・冬期補習の実施に努める。また、大学入試対策講座のより効果的な実施方法等を検討する。
	②進路研修会や進路だよりをとおして、進路情報を提供するなど、各学年に応じた適切な進路指導の充実を努める。	○教職員・生徒・保護者ともに目標指数を上回った。特に、生徒は1・2年でA+Bの割合がかなり高くなっている。	◇各学年会との連携を密にして、生徒の早期進路志望決定に役立つ企画の実施や情報発信に努める。保護者に対しても、保護者が求めている進路や入試の情報提供に努める。

項目 〔校務分掌〕	具体的取組	成果と課題	改善策・向上策
4 保健管理 〔保健部〕	①家庭と連携し、心身の健康に関する知識を深め、自己の健康管理能力を育てる。	△教職員・保護者・生徒すべてにおいて、昨年度指数を上回ったが、1年生のみ、目標指数をやや下回っているため、更に健康意識を高める必要がある。	◇掲示板や保健だより、個々の生徒への指導を通じて、健康管理の必要性を自覚させるように努める。
	②美化意識の向上と主体的な清掃活動の実践を目指す指導に努める。	△校内での教員および生徒の清掃に対する取組は目標指数を上回っているが、家庭での整理整頓に対する保護者の評価は、昨年を上回ったものの、目標指数よりやや低くなっている。	◇教室での整理整頓や、清掃週間および普段の清掃指導をととして美化意識を育てるとともに、整理整頓の重要性を認識させるように努め、家庭での状況向上につなげていく。
	③気がかりな生徒に対する理解と対応に努める。	○教職員は全員、気がかりな生徒に対する理解と対応に努力している。	◇引き続き、連携を取りながら一つ一つの事例を理解し、対応していく。
5 開かれた学校づくり 〔図書渉外部〕	①ホームページやPTAだよりなどをととして、本校教育の取組を積極的に広報するとともに保護者や地域社会と連携した活動の充実に努める。	○教職員・保護者ともに目標指数を上回っている。	◇保護者や地域に、引き続き学校の教育活動やPTA活動について理解してもらえるように、定期的なホームページの更新やPTAだよりの発刊などを行っていく。
6 図書指導 〔図書渉外部〕	①図書および資料の整備と充実に努める。	○教職員・生徒ともに目標指数を上回っている。	◇広報活動と図書館の環境整備に努めるとともに、生徒への広報活動の充実に努める。
	②朝読書をはじめとした読書指導の充実および読書マナーの向上に努める。	○教職員・生徒・保護者ともに目標指数を上回った。しかし、生徒の評価が昨年度より低下した点が課題である。	◇生徒に朝読書の意義を理解させるとともに、生徒の興味関心を引くような書籍の購入、学級文庫の設置に努める。

備考：「成果と課題」欄の「○」「△」は、アンケート集計結果に基づき、目標指数を達成した場合には「○」、達成しなかった場合には「△」で示している。